

安全な入院生活を送るために

入院中は環境の変化に加え、疾患や治療による筋力や体力の低下から、予想以上に転びやすい状況になります。

当院では入院時、その後も数日ごとに評価項目に基づき転倒・転落のリスク判定をし、リスクレベルに応じた転倒・転落防止策を実施、転倒・転落の予防に努めています。

しかし、防止策を行っていても、思いがけない転倒やベッド等からの転落が起こることも少なくありません。疾患や環境の変化で一時的に意識が混乱し、興奮状態や反応が鈍くなることもあります。そのような場合は状況に応じて、見守りセンサーなどの使用や、ご家族の付き添いをお願いすることがあります。

安全な入院生活を送るために、患者さまやご家族の皆さまと一緒に、転倒転落の予防に努めますのでご協力をお願い致します。

入院前の状況について

転倒したことがある場合や排泄状況、歩行の状態など情報を看護師にお伝えください。安全な入院生活のための貴重な情報です。



履物について

スリッパはすべりやすく脱げやすいので危険です。

クロックス(滑り止めの強いシューズ)も転びやすいです。

靴や転倒予防シューズをおすすめします。病院のコンビニで購入することもできます。



移動する時

体調や入院環境により足腰の筋力低下やバランスを崩しやすい状態になります。

いつもよりゆっくり動きましょう。また手すりの使用をお勧めします。



睡眠薬・精神安定剤・下剤・利尿剤を服用されている時

夜中に目を覚ましてトイレに行く時は、ふらつく危険があるので注意して動いてください。

ふらつく時には看護師が歩行に付き添いますので、遠慮せずナースコールを押してベッドでお待ちください。



チューブなど

点滴や尿のチューブに引っかかり転倒することがあります。

特に夜間は、枕元のライトをつけて周囲を見てから歩きましょう。

絨毯やエレベーターなどの段差にもご注意ください。



転倒・転落の危険が高まった時

疾患や環境の変化で一時的に意識が混乱し、興奮状態や反応が鈍くなる場合があります。

状況に応じて離床センサーや抑制帯を使用することがあります。

また付き添いなどご協力をお願いすることがあります。

その都度、ご相談させていただきます。



車椅子について

乗り降りする時は、必ずブレーキをかけましょう。

車椅子には深く腰掛けてください。

足をのせるところで立ち上がると大変危険です。



入院中の荷物について

荷物は床に置かず、ベッド周りの整理整頓にご協力をお願い致します。

物を落とした時は無理に拾わずナースコールでお呼びください。

